

一般質問通告者一覧表（12月15日）

令和5年第4回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
1	山田 学	1	mRNAワクチン接種について		市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 局 長	35分	
			(1)	mRNAワクチン接種について 前回の一般質問以降、ワクチン接種に対する不安や、接種後の体調不良、後遺症に悩む市民の声が多く寄せられている。今後も積極的に進められるワクチン接種について、本市独自の対応について伺う。			
				ア			厚労省の専門部会は来年度以降の新型コロナウイルスワクチンの接種について、65歳以上の高齢者らは「定期接種」と位置付けることを了承した。本市も推進を続けるのであれば、十分にリスクを知って頂いた上で、なお本当に必要とする人だけに接種を限定すべきだと考えるが本市の考えを伺う。
				イ			ワクチン接種後に体の異変を感じても、後遺症に関する情報が市民に十分に伝わっておらず、後遺症を疑うことが出来ないという声も多い。接種後に不安を感じる方に向けたチラシの配布等、本市独自の情報発信が必要だと考えるが見解を伺う。
				ウ			ワクチン接種に対する前回の市の答弁で「国や県で決めたことを伝えるのが市の役割」とあったが、この回答を聞いて「国や県任せではないか」と困惑する市民も多い。実際に市民からも今後の接種や接種後の健康について不安の声があることも踏まえ、本市の見解を伺う。
				エ			mRNAワクチンの有効性、安全性に疑問を持つ医学者や医師も多く接種後の死亡事例も増えている。小学生向けまんが書籍「mRNAのひみつ」の教育現場での活用には慎重になるべきだと考えるが、児童書の選定について本市はどのように決めているのか。
		2	情報発信について				
			(1)	情報発信について コロナワクチンに関する一般質問をした議員のYoutube動画が全国的に削除の対象になっており、Youtubeを介して自由に発信できない社会になってきていることを危惧する中、今後の本市の情報発信について伺う。			
				ア			大手SNSメディアに市民の言論が封じられている現状を踏まえた上で、本市は今後どのように情報発信を行っていくのか見解を伺う。
		イ		今後、本市から発信する情報がメディア側に強制的に削除されるような事が起こった場合、どのように対応するのか。			
		3	市民の健康保護について				
			(1)	市民の健康保護について 新型コロナウイルス感染症の流行により、市民の日常は様変わりし、世の中の動きが今後もさらに大きく変わることが予想される。			
				ア			「第3次東広島市健康増進計画」の策定の趣旨には「次なる新興感染症への社会的変化も予測されている」とあるが、予測される未知なるパンデミックに備え、今後どのように市民の健康を守っていくのか、現状の対策も踏まえ伺う。
				イ			コロナ禍を期に、個人の健康が国の方針に大きく左右されるようになったと感じる。今後の社会変化にどう対応し市民に伝えていくのか、本市の見解を伺う。
				ウ			パンデミック条約、国際保健規則(IHR)改正案について、市長の見解を伺う。

一般質問通告者一覧表（12月15日）

令和5年第4回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間			
		項目	細目	詳細					
2	片山 貴志	1	令和6年度予算編成方針について		市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分			
			(1)	予算編成の基本的な考え方や視点及び財政マネジメントについて 令和6年度予算編成において、「やさしい未来都市東広島」の実現に向けた施策を効果的に推進するため、SDGsの理念に基づきながら、地域の課題解決と魅力向上の鍵となるDXの効果的かつ計画的な推進を図るとされている。また「選択と集中」を推進し、中長期的な視点でより安定した持続可能な財政運営の実現を目指すとも示されている。					
				ア			令和6年度予算編成方針に対する想いについて問う。		
				イ			持続的発展の好循環における本市の現状および課題について問う。		
				ウ			前年度当初予算より約7億円削減の根拠について問う。		
		エ	今年度より導入された枠配分方式において、現状の成果について問う。						
		2	人材確保策について				(1)	保育士の人材確保策について 待機児童が多く、保育士不足が指摘される本市では、様々な施策を試されている。現状と今後の展開や施策そして方針についてお伺いする。	
			ア	本市の待機児童の現状や推移について問う。					
			イ	保育士の人数の推移について問う。					
			ウ	これまでの施策の成果及び今後の施策について問う。					
(2)	看護師及び介護士の人材確保策について 本市においても看護師や介護士などの医療介護従事者が不足している。広島県内の准看護師の養成施設も減少傾向にあり、本市における確保策を検討していく必要がある。								
	ア		本市における看護師及び介護士の現状について問う。						
	イ		現在及び今後の確保策について問う。						

一般質問通告者一覧表（12月15日）

令和5年第4回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
3	宮川 誠子	1	(1)	自殺対策は対症療法ではなく本質的に捉える必要がある	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分
				戦後失われた日本人の根っこを取り戻す 日本の子供たちが諸外国に比べて自己肯定感が低いことはよく知られている。これが自殺の多発に繋がっていると考えられる。これは日本人の心の根っこが失われたことによるものと捉え、戦後教育の中で隠された日本の歴史、日本の国柄、大東亜戦争の真実を確認しながら、日本人の根っこを取り戻す教育の必要性を提起して、所感を伺う。		
				ア 教育とは日本人をつくること		
				イ 日本の国柄		
		ウ 大東亜戦争とは何だったのか				
		2	(1)	観光について		
				市周辺部の人口減少地域の活性化策としての観光政策 市周辺部の人口減少傾向の著しい地域を活性化させるために、その手段としての観光政策をどう展開すればいいのか、考えを提起し所感を伺う。併せて、安芸津の観光政策を問う。		
ア 市周辺部のまちづくりをどう展開するのか						
			イ 安芸津の観光政策について			

一般質問通告者一覧表（12月15日）

令和5年第4回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
4	田坂 武文	1	農業施策について		市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 局 長	35分	
			(1)	持続可能な農業について			
				国は持続可能な食料システムの構築に向け「みどりの食料システム戦略」を策定し、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取り組みと環境負荷低減のイノベーションを推進することとしており、2050年目標として化学農薬の使用料の50%低減、化学肥料の30%低減、耕地面積に占める有機農業の割合を25%に拡大することとしており、本市もこれらに取り組む必要がある。			
				ア			エシカル給食の試行について伺う。
				イ			エシカル農業の普及促進について伺う。
		ウ	園芸センターの機能強化について伺う。				
		エ	下水道汚泥発酵肥料の市内農家での使用拡大について伺う。				
		2	地方自治制度について				
			(1)	内部統制制度について			
				予測されている人口減少社会において、行政サービスを安定的、持続的、効率的かつ効果的に提供するためには、内部統制制度が有効であり、不祥事やミスが繰り返し発生している本市にとって、早期の導入が必要である。			
		ア	内部統制制度の導入について伺う。				
		3	道路行政について				
			(1)	道路整備等に係る諸計画について			
予測されている人口減少社会に適切に対応するため、道路整備等に係る諸計画を見直す必要がある。							
ア	交通渋滞調査の成果と活用予定について伺う。						
イ	自転車活用推進計画の策定について、成果と活用予定を伺う。						
ウ	道路整備計画の見直しについて、方向性と進捗状況を伺う。						